

1 すべての子育て家庭を支える環境づくり

〔1〕地域での子育て支援サービスの充実

利用者のニーズを十分踏まえながら、地域におけるさまざまな子育て支援サービスの充実を図り、在宅で保育を行う家庭を含むすべての家庭が安心して子育てできる環境づくりを推進します。

すべての家庭に対する子育て支援サービスの充実

在宅での子育て家庭のニーズにも対応した保育サービスの推進を図ります。

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(後期)掲載内容		平成22年度の取り組み及び実績	平成22年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課	担当課(現)
	事業	内容				
53	乳児家庭全戸訪問	生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、親子の心身の状況や養育環境等を把握するとともに、育児に関する助言及び子育て支援に関する情報等の提供を行います。	こんにちはあかちゃん事業 生後4か月まで乳児のいる家庭を全戸訪問、親子の様子観察 子育て相談子育てに関する情報提供 訪問完了家庭人数 2,534人	継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課
54	ショートステイ	保護者の病気や出産などで子どもの養育ができない場合、児童養護施設と連携し、緊急に対応します。	市内3か所の児童養護施設で実施 利用件数 9件 利用日数 54日	継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課
54	トワイライトステイ	保護者の仕事などが恒常的に夜間にわたる家庭の子どもを児童養護施設と連携して預かります。	市内3か所の児童養護施設で実施 利用件数 0件	継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課
54	ファミリー・サポート・センター	地域で育児の手助けをしてほしい依頼会員と手助けをする援助会員の相互援助活動により、仕事と子育ての両立を支援します。	説明会46回 参加者 278人、個人説明 8人、出張説明会 1回 講習会23回 参加者 242人(1日コース2回試行) 研修会3回 参加者62人 交流会6回 参加者265人 活動件数 5,364件 新規依頼件数 182件	平成22年に試行した1日コースは、市民から1日で登録できると好評だった。平成23年度では各月に1回1日コースを平日、土曜、日曜でそれぞれ実施し、参加者実績から次年度の説明会・講習会日程を企画する。	子育て支援課	子育て支援課
54	産前・産後ホームヘルパー派遣	産前・産後、体調不良のため家事や育児が困難な家庭や、多胎児を出産した家庭等にホームヘルパーを派遣します。	利用件数 19件	事業所との更なる連携に努める。	子育て支援課	子育て支援課

1 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(後期)掲載内容		平成22年度の取り組み及び実績	平成22年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課	担当課(現)
	事業	内容				
54	出前型一時保育	子育て世代が、市主催の講演会や審議会等へ参加できるように、保育ボランティアを派遣して一時的に子どもを預かります。	依頼件数 247件 派遣実績 174件 保育人数 1,120人	継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課
54	一時預かり(一時保育)	保護者の急な外出や病気のため、家庭で子どもの保育ができない場合など、一時的に子どもを預かります。	子育て支援総合センター一時保育 登録申請者数 902人 利用者数 2,358人 子育てすこやかセンター一時保育 登録申請者数 359人 利用者数 918人	継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課
54	一時預かり(一時保育)	保護者の急な外出や病気のため、家庭で子どもの保育ができない場合など、一時的に子どもを預かります。	私立保育園21か所で行った。	実施か所数を増加していく。	保育課	保育課
54	幼稚園の預かり保育	保護者の希望によって、通常の教育時間を超えて行う預かり保育を実施します。	預かり保育拡充モデル園での更なる時間延長を行う。 (早期8時から9時、終了を5時から6時に延長) 利用料金に月額利用(月10,000円)を設定する。 利用者数 延べ21,595人	保護者から預かり保育の終了時間に5時を希望する意見が多くあり、通常園においても預かり時間の延長を希望する意見がある。 預かり保育の終了時間の延長、追加を検討する。	教育政策課	教育政策課

1 すべての子育て家庭を支える環境づくり

各種相談機能・情報提供の充実

子育てに関するさまざまな相談に総合的に対応できる相談体制を充実するとともに、各種の子育て支援サービスに関する情報提供を積極的に行い、子育て中の保護者の悩みや不安が解消できるよう支援を推進します。

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(後期)掲載内容		平成22年度の取り組み及び実績	平成22年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課	担当課(現)
	事業	内容				
54	子育てに関する相談	子育て・しつけ・発達などについて、電話・面接による相談を実施します。相談内容に応じ、専門的機関につなげられるよう関係機関との連携を図ります。	電話相談 461件 面接相談 330件	継続して実施する。他の機関も相談業務を行っているため、関係機関と一層の連携を図る。制度の周知に努める。	子育て支援課	子育て支援課
54	子育てに関する相談	子育て・しつけ・発達などについて、電話・面接による相談を実施します。相談内容に応じ、専門的機関につなげられるよう関係機関との連携を図ります。	電話・面接による乳幼児の育児・しつけ・発達・保健(予防接種等)の相談を実施した。 電話による相談 4,041件 面接による相談 567件	引き続き市民が相談しやすい窓口になるよう努める。	保健医療課	保健医療課
54	子育てに関する相談	子育て・しつけ・発達などについて、電話・面接による相談を実施します。相談内容に応じ、専門的機関につなげられるよう関係機関との連携を図ります。	子どもを持つ保護者を対象に子どもに関する電話相談等を実施した。 子どもに関する電話相談等 76件 子どもに関する面接相談等 42件	男女共同参画の視点からも、子育てに関するさまざまな悩みについて、面接及び電話相談を実施していく。相談を進める中で、DVや児童虐待、女性としての生き方の悩みなど相談内容がさまざまな領域に広がる場合もあることから、他の相談員との連携を深めるとともに、関係機関との連携を深める。	男女共同参画課	人権・男女共生課
54	栄養相談	乳幼児期の食事と栄養等について正しい知識の普及を図ります。	乳幼児をもつ保護者を対象に栄養相談を実施した。 電話による相談 132件(再掲)	引き続きホームページや広報誌等で周知徹底を図る。	保健医療課	保健医療課
54	保健相談	乳幼児の保護者に対し、乳幼児の心身の健康と育児や予防接種等の相談を実施します。	乳幼児の保護者に対する子育てに関する相談を随時実施した。 電話による相談 643件 面接による相談 28件	引き続き市民が相談しやすい窓口になるよう努める。	保健医療課	保健医療課

1 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(後期)掲載内容		平成22年度の取り組み及び実績	平成22年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課	担当課(現)
	事業	内容				
55	教育相談	児童、生徒の学習、性格、行動、身体、発達、進路等の教育に関する、電話・面接による相談を実施します。	電話相談件数 203件(保護者、児童・生徒) 面接相談(心理的な問題の解決と援助)件数 70件、 相談回数 延べ1,518回(保護者、児童・生徒)	市民への周知を図り、利用しやすい窓口として充実に努める。 相談受付後、迅速に対応できるように工夫する。また、必要に応じて、学校とケース会議等を行い、連携を図る。	教育研究所	教育センター
55	子ども本人からの相談	子ども本人からのいじめ等の悩み相談を実施します。	小学生6人(相談件数) 中学生2人(相談件数)	相談件数とともにのべ合計(相談回数)のデータを取り、分析に活用する。 子どもへの周知を徹底し、利用しやすい窓口として充実を図り、継続していじめ問題の早期解決と解消に努める。	教育研究所	教育センター
55	言語障害児教育相談	ことばの遅れ、吃音、言語障害などことばの問題についての相談・指導を実施します。	ことばの教室相談件数 90件、相談回数 延べ725回	発達に課題のある幼児が増えている中、保護者と連携をとり、指導内容や日常の接し方について相談指導に努める。 幼稚園・保育所、医療機関とも必要に応じて連携を図りながら、相談指導に努める。	教育研究所	教育センター
55	女性・男性のための相談	性別に関わる悩みや不安等に幅広く対応できるように相談を実施します。	女性を対象に、各種相談業務を実施した。 女性・電話・DV・法律相談等相談件数 1,608件 男性電話相談件数 29件	女性が抱える悩みや不安等女性全般に関わる相談に幅広く対応できる窓口として、女性相談、DV相談、法律相談等の相談業務の充実を図るとともに、関係機関との連携を深める。	男女共同参画課	人権・男女共生課
55	子育てに関する情報発信	保育サービスや子育て支援に関する情報を掲載した冊子を作成・配布します。ホームページでも積極的に情報を発信します。	1万部印刷・発行 妊娠届け時に手渡す。他は関係機関に配布	継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課

1 すべての子育て家庭を支える環境づくり

親子交流の場の充実

身近な地域で親子が楽しく交流し、情報交換のできる場を充実します。

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(後期)掲載内容		平成22年度の取り組み及び実績	平成22年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課	担当課(現)
	事業	内容				
55	7・8か月児親子交流	7・8か月の子どもと保護者同士の交流を深める場を提供します。	開催場所25か所 年間参加人数 親507人 子527人	市民への周知方法を再検討し、参加人数の増加に努める。 開催場所の検討も行う。	子育て支援課	子育て支援課
55	地域子育て支援拠点事業	保育所や幼稚園に通っていない子どもと保護者が、気軽に集い、自由に遊べる場を提供します。	あそびの広場 1,317組 子育て講座 74組 親子教室 211組 わくわくびっくり箱 199組	親子教室の名称を「koko(子育て・子育て)くらぶ」に変更 あそびの広場を2か所増やし、合計8か所で実施	子育て支援課	子育て支援課
55	保育所地域開放	保育所を開放し、在宅の親子と保育所の子どもたちや地域の人々との交流を促進します。家に閉じこもりがちな子育てをする保護者への支援を図ります。	10か所の保育所が毎週1回程度「ともだち広場」と称して、地域開放を実施。 保育所によって差はあるが、1か所1年間の参加総数は親子で796人。 また、その中での子育て相談件数は10か所総計で238件。	空き部屋がないため、雨天や暑い時期の実施が困難。	保育課	保育課
55	赤ちゃんとの保護者のつどい	2～3か月の乳児をもつ先輩ママが妊婦に情報提供をしたり、育児に関する悩み等話し合ったり、友だちづくりをするなど、交流を図る場を提供します。	2～3か月の乳児及び保護者を対象に実施した。 実施回数 25回 参加者数 954人	引き続き、友だちづくりや交流の場とし、内容を充実して実施する。	保健医療課	保健医療課
55	ローズWAM各種親子交流	就学前児童と保護者がリズム遊びや手遊び等で楽しく遊ぶ機会を提供します。	6か月から1歳6か月の子どもと保護者を対象に「よちよちはいはい講座」を実施した。 開催回数 4回、参加者 保護者139人 子ども140人 1歳から就学前の子どもと保護者を対象に「親子でたのしく遊ぼう」を実施した。 開催回数 6回 参加者 保護者141人 子ども142人	親と子どもがリズム遊びや手遊び等で楽しく遊ぶ機会の提供を継続して実施する。	男女共同参画課	人権・男女共生課

1 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(後期)掲載内容		平成22年度の取り組み及び実績	平成22年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課	担当課(現)
	事業	内容				
55	幼稚園地域開放	幼稚園を開放し、在宅の親子と幼稚園の子どもたちや地域の人々との交流を促進します。家に閉じこもりがちな子育てをする保護者への支援を図ります。	市立13園で108回実施 参加人数 延べ6,787人 木製知育遊具を導入。	3歳児までの幼児が屋外で遊べるように、遊具等の充実を図る。	教育政策課	教育政策課
56	青少年センター各種講座	上中条青少年センター主催事業として、市内全域で土曜日講座・イベントを実施します。	子どもセミナー 28回、474人	今後も、子どもの興味がわくような内容を工夫し、継続して実施する。	青少年課	青少年課

1 すべての子育て家庭を支える環境づくり

〔2〕子育て支援ネットワーク化の推進

地域に根ざした子育て支援に関する様々な活動などを通じ、地域住民と協働した子育て支援を図りながら、地域の連帯感や教育力の回復に努め、次代を担う子どもや子育て家庭を地域全体で支え合い・助け合うネットワークの形成を推進します。

家庭教育支援の充実

関係機関と連携し、家庭教育に対する支援の充実を図り、家庭の教育力の向上や養育機能の強化を推進します。

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(後期)掲載内容		平成22年度の取り組み及び実績	平成22年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課	担当課(現)
	事業	内容				
56	親支援プログラムの実施	子どもをもつ保護者が参加者同士で悩みや関心のあつたことを話し合いながら、子育てについて学び合う学習会を実施します。	1回目 10人 2回目 9人 3回目 11人 4回目 人数集まらず、実施せず	継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課
56	子育て支援総合センター各種講座	就学前児童の保護者を対象に、乳幼児の生活リズム・家庭での事故防止等をテーマに講座を実施します。	知って得する子育て講座 開催回数 22回、参加人数 362人 出前版 知って得する子育て講座 開催回数 8回、参加人数 70人	保育定員を増やすことを検討し、より受講しやすい環境作りに努める。 ニーズの高い内容の講座回数を増やし実施する。 出前版講座の市民への周知方法や開催場所を検討し、参加人数の増加に努める。	子育て支援課	子育て支援課
56	家庭教育学級	子どもの健全な育成を支援するため、児童・生徒をもつ親に対し、家庭教育の重要性を再認識するとともに、必要な知識と技術について学習する機会を提供します。	市内28小学校 参加人数 974人	平成22年度は、開設校が、全32小学校中28校ということで、会員が集まらず未開設校が4校あった。今後は全校開設をめざし、家庭教育学級の重要性・必要性を認識してもらい、開設に向けてどのような支援が必要かが検討中。	地域教育振興課	地域教育振興課
56	保護者講座	思春期の子どもをもつ保護者の不安や悩みに応じた講座を実施します。	開催回数 全3回 参加人数 延べ89人	平成22年度は、参加者同士が不安や悩みを共有し、自らの課題と向き合えるような講座をめざし、グループディスカッションを含めた講座とした。この手法が好評であったため、今後についてもこの手法を取り入れた講座運営に取り組む。	地域教育振興課	地域教育振興課
56	家庭教育セミナー	家庭の教育力向上を支援するため、家庭教育ノート等に基づき、家庭において保護者が子どもに接する態度・方法などを学習する機会を提供します。	開催回数 全3回 参加人数 延べ69人	家庭教育力の向上をめざし、保護者が今抱えている課題に即したテーマの設定が課題となっている。今後についても、特に日常生活に即実践ができることを内容として盛り込むことが必要。	地域教育振興課	地域教育振興課

1 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(後期)掲載内容		平成22年度の取り組み及び実績	平成22年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課	担当課(現)
	事業	内容				
56	ブックスタート	絵本を介した親子のふれあいのために、4か月健診を受診する子どもを対象に、絵本を配付します。	絵本配布冊数 2,823冊	継続して実施する。	中央図書館	中央図書館

1 すべての子育て家庭を支える環境づくり

子育て相互支援活動への支援

地域に根ざした子育て支援に関するさまざまな活動やボランティア活動などを通じ、地域住民の経験や知識・技能などを積極的に活用し、地域の連帯感や教育力の充実を図り、子育て家庭を地域全体で支え合うための地域住民による自主的な活動の輪（ネットワーク）の形成を推進します。

地域における自主的な子育てグループによる活動を促進し、各団体の情報の共有化や活動の連携促進など、地域ぐるみの子育て支援活動の活発化と連携を推進し、地域の子育て機能の強化をめざします。

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(後期)掲載内容		平成22年度の取り組み及び実績	平成22年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課	担当課(現)
	事業	内容				
57	ファミリー・サポート・センター【再掲】	地域で育児の手助けをしてほしい依頼会員と手助けをする援助会員の相互援助活動により、仕事と子育ての両立を支援します。	説明会46回 参加者 278人、個人説明 8人、出張説明会 1回 講習会23回 参加者 242人(1日コース2回試行) 研修会3回 参加者62人 交流会6回 参加者265人 活動件数 5,364件 新規依頼件数 182件	平成22年に試行した1日コースは、市民から1日で登録できると好評だった。平成23年度では各月に1回1日コースを平日、土曜、日曜でそれぞれ実施し、参加者実績から次年度の説明会・講習会日程を企画する。	子育て支援課	子育て支援課
57	子育てサークル・グループ支援	子育てサークルやグループを対象に、子育てサポーターの派遣やおもちゃの貸し出し等を行います。	サークル派遣 33件 おもちゃの貸出 64件	継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課
57	子育て支援団体のネットワーク化	子育て支援総合センターを中心に、地域における子育て支援活動団体のネットワーク化を推進します。	中央地区 年間7回の連絡会の開催 北地区 年間5回の連絡会の開催 南地区 年間6回の連絡会の開催	継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課
57	子育て支援の人材育成	地域における子育て支援活動の活性化を図るために、その中心となる人材を育成する研修を実施します。	子育て支援団体スタッフスキルアップ研修 2月10日～3月15日(5回) 1回目 15人 2回目 38人 3回目 20人 4回目 21人 5回目 42人	実施時期に他の研修も重なったので、各事業で研修のすり合わせを行い参加しやすくし、継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課
57	子育て支援関係団体との協働によるイベントの開催	子育て支援に関わる団体や機関との連携・交流を促進するために、協働でイベントを開催します。	実施日時と参加人数 10月22日(金)10時～16時 727人 10月23日(土)10時～15時 818人 合計 1,545人	ワムホールで開催する人形劇等のみの実施日を設け、フェスティバル開催日を3日に増やして実施する。	子育て支援課	子育て支援課

1 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書掲載ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(後期)掲載内容		平成22年度の取り組み及び実績	平成22年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課	担当課(現)
	事業	内容				
57	民生委員・児童委員、主任児童委員活動の支援	民生委員・児童委員、主任児童委員による児童に関する相談・指導助言等の活動を支援します。	相談・支援件数 12,067件 うち子どもに関する相談・支援件数 3,308件	継続して実施する。	福祉政策課	福祉政策課
57	こども会等の指導者の育成	子どもの健全な心身の育成を進めていくために、こども会等の指導者の育成や資質・指導力の向上を図るため、研修を実施します。	キックベースボール実技講習会 1回、28人 こども会育成者研修会(百人一首カルタ競技) 1回、27人	指導者の指導技術などの向上を図るため、研修会の内容や周知方法を工夫し、継続して実施する。	青少年課	青少年課
57	家庭教育学級指導者の研修	指導者の認識、資質の向上を図るための研修を実施します。研修内容、形式、講師の選定等について、より効果的な研修成果が得られるよう工夫します。	開催回数 全3回 参加人数 延べ143人	学級運営により効果的な内容となるように、研修内容を検討した。平成22年度の「会議の進め方」をテーマとした研修が好評であったため、次年度についても継続し、学級運営に役立つ同テーマで、別の視点を取り入れるため講師をかえて実施する。	地域教育振興課	地域教育振興課